石岡市立東成井小学校
学校だより　３５号
令和６年２月　２日
校長　　石﨑　重臣

太郎・次郎

「太郎・次郎」は，校庭にそびえるいちょうの木です

【組織目標】児童が主役　みつけよう　かんがえよう　やってみよう～認める　寄り添う　支える～

たった「一文字」でも大きく変わります

昨日から２月になりました。ついこの間、新年を迎えたと思っていたら、もう１か月が経ってしまいました。「行く一月、逃げる二月、去る三月」とはよく言ったものですね。昨日から数えて、６年生は卒業まであと３０日、１～５年生は修了式まであと３４日です。そんな中で、下の言葉の〇の中にひらがなを一文字入れるとしたら、何を入れてどんな言葉ができるでしょうか。

今〇ら　今〇ら　今〇ら

「さ」を入れると「今さら」になります。今年度もあと３０余日。「３０日しかない」と考えると、「もう、今さら」という、投げやりであきらめかけた後ろ向きの気持ちになりかねませんね。

「か」を入れると「今から」になります。「今年度、まだ３０日あるぞ」ととらえれば、「さあ、今から」という、希望、期待、来年度につながる新たな目標も見えてくることでしょう。

さて、三つ目の文字は何を思いついたでしょうか。

「な」を入れると「今なら」になります。「よし、今なら間に合う」という、決意、勇気、行動、一歩踏み出すための意志のある言葉となります。

「今さら」とあきらめるか、「今から」と決断するか、「今なら」と行動するか、今日のなるいっこたちの心には、どの「今」があるでしょうか。それは、私たち教職員も同じことを求められるものと、私たち自身に問いかけていきたいと思います。

「今」に「心」と書いて「念」という字になります。「一念」と書けば、一途に思う望み、いつまでも心にとどめる思い、という意味になります。同じ心に思うなら、プラスの言葉を思い浮かべたいですね。

卒業、進級を意識する時期となってきました。なるいっこたち、そして私たち教職員一人一人が「今から」「今なら」の気持ちを抱くには一番よい時期だと思います。保護者の皆様のご理解とご協力を何とぞよろしくお願いいたします。

「呼べば、応える」すばらしさ！

先日、地域の方から、近隣の公園でごみが散らかっているというお知らせを受けました。本校の子どもたちも、この公園で遊ぶことがあるようで、公園の利用の仕方やマナーについて、昨日各学年で話し、考える時間を取りました。

昨日の夜、子どもたちからタブレットで嬉しい話が学校に寄せられました。子どもたちの中で「公園のごみ拾いに行こう」とお互いに声をかけて、公園に行ってきれいにしてくれたという報告でした。私も夕方、その公園を訪れたのですが、ごみのないきれいな公園になっていました。

私は「呼応」という言葉が大好きです。「呼べば、応える」というのは、人が協力してよくしていこうという基本のつながりだと思います。学校で聞いた話をすぐに実行に移せるなるいっこを、とても誇りに思いました。「呼べば、応える」東成井小の絆が、これからもたくさん増えていくことに期待しています。